

よくある禁忌品

オフィス系古紙によく含まれている禁忌品(3品目)

●ふせん

●ホッチキス

●インデックス

公益財団法人古紙再生促進センターが挙げている禁忌品(23品目)

<紙 13品目>

●粘着物のついた封筒



●防水加工された紙(紙コップ、紙皿、紙製のカップ麺容器、紙製のヨーグルト容器、油紙、ロウ紙など)



●裏カーボン紙、ノーカーボン紙 (宅配便の複写伝票など)



●圧着はがき(親展はがき)



●感熱紙(ファックス用紙、レシートなど)



●印画紙の写真、インクジェット写真プリンター用紙、感光紙(青焼きコピー紙)



●プラスチックフィルムやアルミ箔などを貼り合わせた複合素材の紙



●金・銀などの金属が箔押しされた紙



●感熱性発泡紙

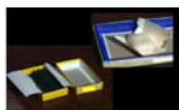
(主に点字関係で使用されているもので、熱を加えたところが盛り上がる紙)



●合成紙(選挙の公示用ポスター・投票用紙など。プラスチックで作られているので、正確には紙ではない)



●臭いのついた紙(石鹼の個別包装紙、紙製の洗剤容器、線香の紙箱など)



●水に濡れた紙、油のついた紙、使い終わったティッシュペーパーやタオルペーパー、食品残さなどで汚れた紙



<紙以外 10品目>

●粘着テープ類
●ファイルの金具
●金属クリップ類
●フィルム類

●ワッペン類
●ガラス製品
●発泡スチロール

●セロハン
●プラスチック製品
●布製品